

令和2年度 苫小牧市立清水小学校学校改善プラン【学力向上】4月

学校の状況	校長	堀田 稔	教頭	後藤 敏彦	教務主任	下江後洋介	研究部長	安田美加子	教職員数	29	児童数	222	学級数 (通常)	9	(知的)	1	(情緒)	2
	住所	苫小牧市清水町2-10-16			電話番号	0144-33-7285	FAX	0144-33-7286	学校メールアドレス	simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp								
1 学力向上の現状	○平成31年度全国学力・学習状況等調査の結果～国語は-3.8P、算数は-6.6Pと全国平均に届かなかった。 ○平成31年度苫小牧市統一学力検査の結果～【国語】第4学年は+0.6P、第5学年は-1.9P【算数】第4学年は-2.6P、第5学年は-3.6P、第6学年は-3.6Pで、多くの学年・教科で全国平均に届かなかった。 ○学校評価アンケート(児童・保護者)の学力向上関連項目の平均評価(4段階)～中間反省で児童3.6、保護者3.5、年度末評価では児童3.6、保護者3.4と、9割に迫っている。																	
2 学力向上の到達目標	○令和2年度全国・学習状況等調査の結果～実施なし ○令和2年度苫小牧市統一学力検査の結果～実施なし ○学校評価アンケート(児童・保護者)の学力向上関連項目の平均評価(4段階)～中間評価で児童・保護者とも3.6以上、年度末評価で児童・保護者とも3.6以上を目指す。																	

前回の検証結果から(令和元年末)11月に実施した第6学年の自校作成検証問題結果では、国語の記述や漢字の書き取りは改善されたが、算数の四則混合計算は改善されていなかった。他学年も総じて国語に比べ算数が課題となっている。

3 学力向上の到達目標達成に向けた取組と検証

内容・指標 取組項目	主な取組内容	具体的な取組と評価指標	1学期				2学期				3学期			中間評価・年度末評価			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	評価	今後の取組の重点	
学びを広げる子(からだ)知	他者と関わりあう中で、コミュニケーション能力を身に付け、学びを深め、広げる子ども	共通取組事項(目標の焦点化・ゴールのイメージ化・振り返りの視覚化)を踏まえた授業改善	全ての教科の授業において「ねらい」「まとめ」を明示し、授業のまとめで「振り返り」を行う。評価は児童アンケート回答率90%とする。	校内研修による共通理解					中間評価					年度末評価	次年度計画		
		全国学力・学習状況等調査を始めとする学力検査の結果分析と課題補充学習の実施	第6学年は全国学力実施後の検証と課題解決に取り組み、第5学年では前年度問題を予習として実施する。評価は全国平均値に届くものとする。	検査の準備・実施	自校分析と検証			正式結果の検証	中間評価	課題領域の解決			次年度対策	年度末評価	次年度計画		
		チャレンジテスト等を中心に漢字学習や四則計算等、基礎・基本的学習内容の定着	チャレンジテスト全学年で全回の実施を行い、特に基礎・基本的学習内容の充実を図る。評価は要登録回の正答率を85%とする。	年間指導計画の作成・提示		第1回実施・検証			中間評価		第2回実施・検証		第3回実施・検証	年度末評価	次年度計画		
	発表・話し合いにより思考力・判断力・表現力を身につける子ども	自分の思いや考えを説明したり発表したりする言語事項を重視した授業改善	ペア学習やグループ学習等により自分の思いや考えを説明したり交流したりする学習を取り入れる。評価は児童アンケート90%以上とする。	チャレンジテストの年間計画提示					中間評価					年度末評価	次年度計画		
		算数科において習熟度別少人数指導による授業改善と検査結果の向上	第3～6学年算数科全時間で習熟度別少人数指導を実施する。評価は算数科の児童アンケート平均85%以上とする。	年間指導計画の作成・提示					中間評価					年度末評価	次年度計画		
		「清水スタンダード」による授業規律の徹底とノート指導の充実	「清水スタンダード」に基づいた授業規律を全学級で徹底する。評価は教職員アンケートで85%以上とする。	清水スタンダードの提示					中間評価					年度末評価	次年度計画		
	「毎日しよう家庭学習、家でも読もう読書大好き」を実践する子ども	「家庭学習の手引き」活用による家庭と連携した家庭学習の習慣化	「家庭学習の手引き」に基づいた家庭学習「学年×10分+10分」を全学年で徹底する。評価は児童・保護者アンケートで85%以上とする。	家庭学習の手引き提示				家庭学習強調週間	中間評価		家庭学習強調週間			年度末評価	次年度計画		
		日常的な読書の充実と家庭での読書週間(家毒(うちどく))の形成	学校での読書活動の充実と家庭での読書の推進を図る。評価は校内貸出数年間10000冊、児童・保護者アンケート85%以上とする。	読書活動計画の提示			学期末評価		中間評価			学期末評価		年度末評価	次年度計画		